

勝負の夏が来た！1学期の復習と2学期の予習先取り！

時間を有効に使おう！

Time Management

★進路に関する今後の予定（～8月）

- 7月26日（月）～30日（金）夏期講習（1～3年）
- 8月2日（月）～ 6日（金）夏期講習（3年）
- 8月7日（土）8日（日） 全統模試（3年）
- 8月10日（火）11日（水） 弘大オープンキャンパス（zoom 配信）
- 8月16日（月）～18日（水）夏期講習（3年）
- 8月19日（木）～20日（金）夏期講習（1～3年）
- 8月23日（月）始業式 確認テスト
- 8月24日（火）確認テスト（普通科）・3年進学面接指導集会
- 8月31日（火）2年進路講演会

1学期の評価が出ました。満足している人はどれくらいいるのでしょうか。ほとんどの人は「もう少しやれたのに・・・」「思ったより低かった。」と思っているのではないのでしょうか。または、全力で努力して、今までにない成績を獲得した人も中にはいるかもしれません。どちらにしても、1学期は終わりました。誰にも等しく暑い夏がやってきます。講習はありますが、普段よりはいくらかでも時間はあるはず。それをどう使うかは、個人の裁量にまかされます。「暑い暑い」とダラダラして終わるか、「暑いのはみな同じ。自分はこれをやる。」と強い意志をもって学習に打ち込むか……。風が少し涼しく感じられる頃に違いが出てきます。上手に時間を使いましょう。大人になると自分のために純粋に使える時間は限られます。今を大切に・・・🌻🌻🌻🌻

この夏始めよう ☀️ 📄 📖 📝 📌
新聞切り抜き小論文ノートのススメ

「ニュースを見ていますか？」と聞くと、「はい！スマホで見えています！」という答えが……。ちょっと待って🙄

なぜ新聞を読まないのですか！？（3学年の教室には朝日新聞と東奥日報の2紙が置いてあります）**新聞は宝の山**🙄because...

新聞が小論文対策に有効な理由

その1・・・「～だ。」「～である。」と常体で書いてあるので、小論文の形式に慣れやすい。

その2・・・「ぼくは」「私は」という主語がなく、客観的に事実を伝えている文章を読むことができる。

その3・・・冒頭に一番伝えたい重要事項があり、読み進めていくと詳細を知る構造になっているので、小論文でまねしやすい。

その4・・・起承転結がはっきりしており、簡潔でわかりやすい文章なので、読者に事実が明確に届く感覚が身につく。

その5・・・何よりも・・・**時事問題に強くなる！！**

面接試験の直前まで見ることができよう充実させて、自分のオリジナルノートを作ろう📖

小論文ノートの作り方

Step1：自分の進路に関わる分野、気になる記事を選択し、切り取り、ノートに貼る

Step2：日時、見出しを書く。専門用語など、わからない単語を調べる

Step3：簡単な感想、要約を書く

Step4：慣れてきたら、論じる★自分の意見を書くだけでは論文にならない。記事は論を支える説得力のあるエビデンスになる！

Step5：同一記事を、家族や友人と共有し、読み比べる。同じ記事でも捉え方の違いを学んだり、新たな視点が手に入る

入試における記述力重視傾向はますます増加

このような大変な時代だからこそ、時流に流されず、自らの意見をしっかり論じられるように、インプットを！

特集①学校推薦型選抜（旧推薦）総合型選抜（旧 A0）入試の最新情報（「蛍雪時代7月号増刊」より）

★学校推薦型選抜（公募制・指定校制）とは	★総合型選抜とは
(出願条件) ・学校長による推薦が主★国公立大に指定校推薦はない ・国公立大は「現役生に限る」が多く、私立大は「現役生に限る」「制限なし」と大学による ＊指定校は専願のみ、入学確約が必須条件	(出願条件) ・自己推薦が主 ・今まで学業成績基準を設けていない大学が多かったが、新たに設ける大学が増加している ・「専願者に限る」大学が大半
(選考方法) ・出願受付は原則11月1日以降 ・試験は1～2日型が多い ・主流は書類審査、小論文、面接(国公立大は共通テストを課す場合もある)	(選考方法) ・出願受付は原則9月1日以降 ・選考は1～2ヶ月の長期間型が多い ・書類審査、面接が主(国公立大では大学入学共通テストを課す場合もある)

合格へのポイント

★書類審査・・・①調査書：日常学習の積み重ねが大切。2021年度入試から「指導上参考になる諸事項」が大幅に拡充され、学習に対する姿勢、課外活動、取得した資格、表彰等が3年間分、今までよりも多く記載できるようになった、つまり何もやってこなかった人は「何も書かれることがない！」事態になる。

②志望理由書：「推薦書」や「調査書」と違い、「志望理由書」は受験生が自分で作成するもの。面接の資料にもなるため極めて重要だ。「自分のことを知らない人にもわかってもらう」という目的を意識しよう。「なぜその大学を志望したのか。」「なぜその学部を志望するのか。」「入学後、何を目指していきたいのか。」などについて丁寧に書こう。**一番大切なのは星の数ほどある大学、学部の中で「その大学でなければいけない理由」を明確に書くこと**

★小論文・・・①問題は5タイプ：(1)課題論述型(与えられたテーマについて自分の意見を述べる)(2)文章読解型(課題文を読み解き、文章の要約や、関連テーマについて論述)(3)資料分析型(資料やグラフから分析した結果を要約したり論述する)(4)教科密着型(特定教科の学力試験的な問題)(5)複合型

②出題パターンは4つ：(1)学科・専攻分野に関するもの(研究能力や適性を見る)(2)青年期の生き方に関するもの(人生観・世界観を見る)(3)現代社会・文明に関するもの(批判力、問題意識、感性を見る)(4)教科内容に関するもの(学力試験に代わるもの)★特に(3)で新聞記事、社説、コラムが使用されること多し

★面接・・・質問を想定し、模擬面接で慣れよう、ありのままの自分を見せればいわけでない。普段あまり接点のない先生にお願いするのも良い。

★学力試験・・・推薦・AO 入試入学者は、一般入試入学者に比べると学力的に問題があるケースも多くあった。そのため、国公立大学では共通テストを課すタイプが増加する傾向にある。いずれにしても、短期間での対策は難しいので、普段からの学習の積み重ねが重要だ。

★まとめ1「楽しんで受かる」は大きな間違い！一般入試と比べて、早期に決着し、学力試験を課さない形も多いことから、「楽な入試」と思う人がいるが、それは誤りである。書類審査、小論文、面接も一般入試に合格するくらいの確かな学力があって初めて力を発揮する。**インプットがなく、スカスカの状態ではアウトプットができるわけがないのである。**

★まとめ2「なぜ学びたいのか」常に自問自答しよう。その大学に入学したいという思いを強く伝えられる入試制度だからこそ、生半可なものであってはいけないのだ。アドミッションポリシーを把握し、志望学部・学科での学びや研究に関する本を読み、積極的に情報収集を！**まずは図書館へGO！！**

★まとめ3学校推薦型・総合型選抜の受験を志すにあたり、君たちの生き方自体が「調査書に記載できる内容」に引っ張られてしまっただけでは逆効果だ。学校を、受験対策の場としてだけでなく、様々なことを学び、楽しみ、時には失敗をしながら、様々な経験ができる場として受け入れて、自発的に生活することが君たち自身を魅力的な人間にしていける。そしてその魅力が、大学にアピールするための材料となっていくのだ。最後まで何事も全力であらう。

特集②進路指導部主任 宮本将二先生

夏を制する者は受験を制す

昔から言われていることばです。夏がいかに大事かということですが、各学年でとらえ方は違ってくるでしょう。そこで、私の考える各学年の過ごし方について紹介いたします。

【1年】
 入学して4ヶ月が経ち、学校生活にも慣れ、2度の定期考査と模擬試験を経験し、学校生活のペースをつかみかけている頃でしょう。そんな1年生にやって欲しいことは、「自分の弱点を知り、それをこの夏に補強する」ということです。これを実行するためには自分を知らなければいけません。自分がどういう人間であるかを理解し、勉強や部活動で「何をしなければならぬか、何をすべきか」を見つけましょう。そのためには規則正しい生活が欠かせません。毎日決まった時間に起き、ごはんを食べ勉強やスポーツをし、決まった時間に寝るようにしましょう。

【2年】
 中堅学年としてスタートしましたが、多くの部活動で3年生が引退後、中心として活動していることと思います。進路面では、2年生になると多くの人が自分の志望を持ちます。そんな2年生にやって欲しいことは、「行動すること」です。自分の行きたい学校や職業のことをネットなどを使って徹底的に調べ、可能ならばオープンキャンパスなどに出向いて欲しいです。コロナ禍で行動が制限されますが、できることはさまざまあります。「どこにも行かず、宿題をやっただけで終わった」ということにならないよう、情報収集に努めて欲しいです。

【3年】
 3年生はタイトルにある通り、「受験を制するための準備」をしてください。只管(ひたすら)打ち込んでください。人生80年の中で、「これほどやったことはない」と言えるような夏にして欲しいです。自分の将来のための夏になって欲しいです。ほぼすべての人が進路の方向性は決まっています。向かう方向が違っててもやることは一緒です。大学進学で一般選抜を考えている人は、共通テストの仕上げをしましょう。そして2学期から2次試験対策へ移行できるように学習計画を立ててください。総合型・推薦型選抜を考えている人は、大学入学共通テスト対策の他、自分の志望する分野の本をたくさん読み、過去問から小論文対策をしたり、志望理由を明確にスラスラと言えたりするようにしましょう。総合型・推薦型選抜の場合は、落ちるかもしれないというリスクを承知で臨むのですから、生半可な気持ちで過ごさないようにしましょう。公務員を考えている人は、夏休み明け(9月)に試験があります。教養試験の一般知識と一般知能の他に、時事問題にも対応しなくてはなりませんので、普段から新聞を読んだりニュースを見たりするようにしましょう。就職を考えている人は、早いうちに書類を準備して清書し、会社訪問してください。耳で聞いたものと実際に目にしたものでは、情報が全く違います。これは大学等のオープンキャンパスにも共通することですが、必ず「自分の目」で見確認して来てください。

いずれにしても「大切な夏」になります。有意義な「実りのある夏」を過ごしましょう！